

地方創生推進交付金 事業説明資料
(令和 3 年度実施分)

UIJターンによる起業・就業者創出事業

実績額 48,905 千円 (うち交付金 24,452 千円)

1 事業の目的・概要

本県へのUIJターン希望者等の県内企業への就業を支援するため、県内企業の求人情報や暮らしの情報等を一元的に提供するマッチングサイトを運営するとともに、県内条件不利地域^{※1}で起業する者や移住して中小企業に就業する者の支援等を実施した。

※1 県内条件不利地域：館山市、勝浦市、鴨川市、富津市、南房総市、いすみ市、東庄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、旭市の12市町（令和3年度時点）

2 事業の内容

(1) マッチングサイトの運営

専用ホームページ「千葉県地域しごとNAVI」により、県内企業の求人情報や暮らしの情報等を一元的に提供。

〈R3年度実績〉移住支援金対象法人^{※2}の登録数：64 法人

求人情報掲載法人・件数：107 法人・286 件

(上記のうち移住支援金対象法人・件数：65 法人・181 件)

※2 移住支援金対象法人：「UIJターンによる起業・就業者創出事業」における移住支援金の給付に係る対象法人として県の登録を受けた法人

(2) 移住支援金対象法人等への求人広告等作成支援業務

移住支援金対象法人等が、「千葉県地域しごとNAVI」に求人情報を掲載するに当たり、効果的な求人広告の作成等支援のため、セミナーの開催や個別指導の実施。

〈R3年度実績〉求人広告作成に係るセミナーの開催(1回)

開催日	イベント名	参加者
11月11日	移住支援金対象法人向け人材確保セミナー	19社(23名)

(3) 千葉県地域課題解決型起業支援事業補助金

条件不利地域における社会的課題解決を目指し、地域活性化関連事業分野、又はまちづくり推進関連事業分野において新たに起業する者及び Society5.0 関連業種等の付加価値の高い産業分野において、事業承継又は第二創業する者を対象として、補助金を交付。

〈R3年度実績〉交付件数：2 件

(4) 移住支援事業

東京 23 区の在住者又は東京都、埼玉県、神奈川県在住で東京 23 区への通勤者を対象に、県内の条件不利地域において、地域しごとマッチング支援事業の対象となる企業に就業、地域課題解決型起業支援事業の対象となる起業、テレワークによる業務の継続、市町村が関係人口と認める場合、1 世帯あたり 100 万円（単身の場合は 60 万円）の移住支援金を支給。

〈R3年度実績〉本移住支援事業に基づく移住就業者・移住起業者数 35 人

事業名	U I J ターンによる起業・就業者創出事業	
担当課	総合企画部地域づくり課 商工労働部経営支援課 商工労働部雇用労働課	
総合戦略記載箇所	大項目：2 県内外に発信する魅力づくり 中項目：③ 居住地として選ばれる千葉づくり	
【本事業における重要業績評価指標（KPI）】		
指 標 名	実績値	目標値
マッチングサイトに新たに掲載された求人件数	286件	80件
本起業支援事業に基づく起業者数	2人	2人
本移住支援事業に基づく移住就業者数	34人	78人
本移住支援事業に基づく移住起業者数	1人	2人
【事業効果の判定】		
①地方創生に非常に効果的であった（例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合）		
②地方創生に相当程度効果があった（例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合）		
③地方創生に効果があった（例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合）		
④地方創生に対して効果がなかった（例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合）		
【要因・課題】（取組推進に当たっての問題点、問題点を踏まえた課題）		
<ul style="list-style-type: none"> ・「千葉県地域しごとNAV I」に掲載した求人の件数は目標値を上回ったが、ユーザー数やアクセス数をさらに伸ばし、ホームページの認知度を向上させる必要がある。 ・条件不利地域での起業への機運醸成や社会的課題の解決に資する取組への支援が更に必要になると見込まれるため、該当市町との連携を強化し、周知・啓発に努める必要がある。 ・移住支援金の支給には、条件不利地域の市町村への転入に加え、地域しごとマッチング支援事業の対象となる企業に就業、地域課題解決型起業支援事業の交付の決定を受ける等の必要があることから、すべての要件を満たすことが難しい。 		
【改善策・取組方針】		
（要因・課題を踏まえた具体的な取組（令和4年度に向けた取組の修正・改善））		
<ul style="list-style-type: none"> ・「千葉県地域しごとNAV I」掲載希望企業の新規掘り起こしを積極的に行い、掲載求人数の増加を目指すとともに、広報の充実を図り、ホームページの認知度向上を図る。 ・引き続き該当市町との連携を強化し、起業の促進に努める。また、該当市町には創業支援等事業計画が未策定のところもあるため、併せて策定を呼びかける。 ・新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、移住説明会等を開催し、当該制度の周知や本県の居住地としての魅力発信等に取り組む。 ・移住支援金を実施していない自治体に対して、本事業の活用を促す。 		

「起業・創業」及び「事業承継」を契機とした地域経済の活性化事業

実績額 16,000 千円（うち交付金 8,000 千円）

1 事業の目的・概要

本県では、高齢化が他の都道府県と比較して急速に進み、既存の中小企業、特に地方部における小規模事業者が加速度的に減少することが予想される。

就業機会を求める若年層や働く世代の県外への流出を防ぎ、地域の活性化につなげるため、新たな発想による起業を促進する方策として、起業機運の醸成・啓発から優秀な起業家の発掘・育成、実際の起業に向けた人脈形成や販路開拓等の経営サポートまで、一貫した支援を行う。

2 事業の内容

(1) ビジネスプラン・コンペティション

県内の様々なニーズに対応した、新たな発想・手法による起業を積極的に応援するため、本県の課題解決につながるビジネスアイデア・プランを広く募集し、応募者に対するプレゼン指導等の支援を提供しながら、評価・表彰をした。
〈R3 年度実績〉応募総数：52 件



(2) 起業家交流会（感染症対策のためオンライン開催）

地元起業家が事業に懸ける想いを語るプレゼンや、来場者同士の交流等、顔の見えるビジネスマッチングの機会を提供する交流会を開催した。
〈R3 年度実績〉開催回数：3 か所、参加者数：延べ 281 名

(3) 起業家応援イベント（感染症対策のためオンライン開催）

地域を超えて起業家を応援する大規模イベントとして、「ビジネスプラン・コンペティション」のファイナリストによる最終プレゼン・最終審査と表彰式を実施するとともに、起業家や支援者、創業支援事業者等との交流会、起業家に役立つセミナー、相談ブース設置等を実施することで、より広く起業について周知し、起業意欲の増進を図りながら、地域を超えたビジネスマッチングの機会を提供した。
〈R3 年度実績〉事前エントリー数：608 名、セミナー申込数：177 名



(4) フォローアップ支援等

「ビジネスプラン・コンペティション」等で発掘した優秀な起業家や起業予定者に対し、実際に起業する際や起業した事業を軌道に乗せる際に必要な知識・ノウハウについてアドバイスを実施した。

〈R3 年度実績〉派遣企業数：3 社

また、各地域での「起業家交流会」前に、交流会でプレゼンを行うプレゼンターを集め、内容のブラッシュアップ会を実施した。

さらに、事業実施後についても、起業家へのフォローを実施していくため、事業参加者、起業家、支援機関等をメンバーとして、起業家クラブページを新設した。

〈R3 年度実績〉個人 ID 付与数：151 件

(5) 情報発信

県内で実績のある起業家の事例集を作成するとともに、起業家や起業予定者に向け、起業機運を高めるコンテンツ、事例集に掲載された起業家についての情報、当事業や公的支援機関等での支援情報・施策案内などを、ホームページや SNS 等を使い、効果的に発信した。

〈R3 年度実績〉事例集配付部数：2 万部

ちば起業家応援事業 Facebook へのいいね件数：1,825 件(R4. 3. 31 時点)

事業名	ちば起業家応援事業	
担当課	商工労働部経営支援課	
総合戦略記載箇所	大項目：(1) “一人ひとりの働きたい” がかなう千葉づくり 中項目：①地域の創意工夫による経済活性化の取組の促進	
【本事業における重要業績評価指標（KPI）】		
指標名	実績値	目標値
ビジネスプラン・コンペティションの応募者数	8人減	5人増
ちば起業家クラブの参加者への個人ID付与数	151件	150件
支援メニュー参加者の内、起業（事業承継によるものを含む）希望者の起業率	90%	20%
【事業効果の判定】		
①地方創生に非常に効果的であった（例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合）		
②地方創生に相当程度効果があった（例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合）		
③地方創生に効果があった（例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合）		
④地方創生に対して効果がなかった（例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合）		
【要因・課題】（取組推進に当たっての問題点、問題点を踏まえた目標達成に必要な課題）		
<ul style="list-style-type: none"> ・「起業家交流会」については、過去47回開催したため、県内市町村の多くでノウハウが浸透されていると考えられるが、単独で主体的に企画・運営を行うことが難しい人口規模の小さな自治体では開催されにくい傾向がある。 ・「ビジネスプラン・コンペティション」については、コロナの影響等により事業環境が大きく変化したことに伴い、検討していたビジネスの内容も大きく変わらざるを得ないため、近年応募者数が減少してきていることから、応募者の増加に向けた取組が必要となっている。 ・起業率については、ビジネスプラン・コンペティションの過去の応募者を対象に実施したアンケートを基に算出したもので、本事業の参加者は起業済の方も多く参加しており、実績が目標値を大幅に上回っている。 		
【改善策・取組方針】（要因・課題を踏まえた具体的な取り組み（令和4年度に向けた取組の修正・改善））		
<ul style="list-style-type: none"> ・起業家交流会の開催に意欲のある地域を中心に、オンラインも活用しつつ対象地域を広域化して開催をすることで近隣市町村へも効果が波及するように努める。 ・「ビジネスプラン・コンペティション」への応募を促すなど、興味関心を惹くための周知方法や、応募方法の見直しを行う。また、これまでの創業支援に加え、事業承継を活用した第二創業等の啓発、支援を実施する。 		

プロフェッショナル人材戦略拠点事業

実績額 40,660千円 (うち交付金 20,330千円)

1 事業の目的・概要

優れた経験を持つプロフェッショナル人材の地方への還流を促し、地域経済の活性化を図るため、潜在成長力のある地域企業の経営者に、新商品開発や新販路拡大などの「攻めの経営」への転身を促し、その成長戦略の実現のため必要となるプロフェッショナル人材の採用を支援する。

2 事業の内容

(1) 拠点の設置・運営

(公財) 千葉県産業振興センター (千葉市美浜区) 内に「千葉県プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、拠点運営を行う。

(2) 企業への訪問・相談等

地域金融機関、中小企業支援団体等と連携し、成長が期待される企業に個別に訪問し、経営者に「攻めの経営」との新たな事業展開を促すことで、プロフェッショナル人材に対する有望かつ明確なニーズを発掘し、人材ビジネス事業者に取り繋ぐ。

また、都市部大企業等の連携強化による多様なプロフェッショナル人材の還流ルートの開拓など、地方創生の実現に当たって必要となる新たな業態への人材面の支援を進める。

(3) 地域版プロフェッショナル人材戦略協議会の開催

目的：関係者間の連携を強化し、事業を浸透させ、効果的なものとしていく観点から、協議会を設置・運営する。

※協議会構成員 (金融機関、中小企業支援機関、民間人材ビジネス事業者等)

(R3 年度実績) 年 3 回開催

(4) 中小企業経営者向けセミナー

目的：地域の中小企業を対象に、企業の成長戦略とプロフェッショナル人材の必要性について、経営者のマインドを醸成する。

(R3 年度実績) 年 4 回開催 参加人数 140 名



経営者向けセミナー

(5) 大企業連携のための交流マッチング会

目的：大企業等の連携を図るため、副業・兼業を含めた多様な人材の還流ルートにつなげることを目的に、プロフェッショナル人材を必要とする中小企業と大企業との交流を深める。

(R3 年度実績) 年 1 回開催 参加人数 16 名

事業名	プロフェッショナル人材戦略拠点事業	
担当課	商工労働部雇用労働課	
総合戦略記載箇所	大項目：1 地域経済の好循環を生み出す環境づくり 中項目：⑤ 中小企業の活性化支援	
【本事業における重要業績評価指標（KPI）】		
指 標 名	実績値	目標値
中小企業の相談件数 (経営者との人材・経営等に関する相談件数)	341 件	280 件
プロフェッショナル人材の 県内中小企業における正規雇用件数	52 件	65 件
プロフェッショナル人材の 県内中小企業における副業・兼業等雇用件数	46 件	5 件
【事業効果の判定】		
①地方創生に非常に効果的であった(例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合)		
②地方創生に相当程度効果があった(例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合)		
③地方創生に効果があった(例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合)		
④地方創生に対して効果がなかった(例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えないような場合)		
【要因・課題】(取組推進に当たっての問題点、問題点を踏まえた目標達成に必要な課題)		
<ul style="list-style-type: none"> 潜在成長力のある企業を掘り起こすため、関係機関と積極的に連携し、企業情報を収集する。 プロフェッショナル人材の新たな地方還流ルートにつなげるため、中小企業への事業周知や新たな事業展開を促すとともに、出向、研修、副業・兼業などの多様な人材ニーズを開拓して都市部大企業と連携した人材交流を進めていく取組が必要である。 		
【改善策・取組方針】(要因・課題を踏まえた具体的な取り組み(令和4年度に向けた取組の修正・改善))		
<ul style="list-style-type: none"> ダイレクトメールを活用した事業周知を行うとともに、企業訪問により事業展開する上での経営課題を聞き取り、課題解決のための人材ニーズを明確化させる。 出向、研修、副業・兼業などの人材ニーズに対応するため、プロフェッショナル人材を必要とする県内中小企業と都市部大企業の担当者との交流会を開催し、新たな人材還流を進める。 		